

宮城県日中友好協会

メール jcfa.miyagi2025@gmail.com ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



《お知らせ》県協会では4月末に仙台市内の事務所を閉鎖いたしました。一層のオンライン化を図ってまいります。今後の諸連絡は上記のメールへお願いいたします。ご理解よろしくお願いたします。

留学生招き、大河原日中で「観桜会」

恒例の留学生を招いての「観桜会」が4月12日に行われました。今年は7日頃に満開を迎え、12日までは花はもつと思われました。しかし10日に雨、11日は強風となり、孟浩然の『春暁』「夜来風雨声、花落知多少」の心境でした。

当日早朝、桜花を見て安心したのもつかの間、学友会から「強風の為、電車が運休で行けません」と電話があり対応に苦慮しておりました。しかし会場予約終了時間までに、乗用車やバイクで次々と駆け付けた留学生は35名になり、人海戦術的作戦に感謝、感涙。合計45人の参加で観桜会を終了することが出来ました。

午後には、風も弱まり、河川敷の桜花を見て、電車も再開運行したので、留学生も無事帰仙しました。“艱難は、友好を玉にする”ことを実感しました。(事務局長・鈴木悟)



「第5回オンライン日本語発表会」(オンライン推進委)を開催

4月12日(日)10時からzoom上オンラインで開催しました。テーマは「私の好きな日本の〇〇を紹介」とし、5人の中国人の方々が発表し、運営側を含め25名が参加しました。今回はPowerPoint等で作成したスライドを投影しながら発表するというプレゼン形式で、当協会の日本語発表会としても初めての試みでした。

最優秀賞の王孫博さん(東北大学)はルールや秩序を守り、他者に配慮して行動する「日本人の见えないやさしさ」について発表。また聴衆賞受賞の劉煥豪さん(東北大学)は、幼少期より大好きな「ドラえもん」について発表。「ほんやくコンニャク」といったお気に入りの道具についての思い入れや、以前、香港で開催されたドラえもん展でのエピソード等が、紹介されました。



今回は、スライドを使用した発表ならではの写真や動画の共有で内容が充実していることに加え、聴衆者との質疑応答も盛り上がりました。なお5名の方々には運営者の地元・広島の“宮島杓子”が送られました。

(オンライン交流推進委・事務局次長 平田藍菜)

《行事予定・ご案内》

「魯迅・読書会」への参加者募集!

「仙台魯迅先生顕彰会」では「魯迅・読書会」を下記の要項で行うことになりました。なお年2回の開催予定です。

<第1回の教材は作品『藤野先生』> 2回目以降は話し合いです。

<日時> 6月20日(土)13時半~15時 <会場> エレクトロンホール宮城403室

<定員> 10名(会員・友人を問わず、比較的若い世代の方々の参加を考えています)

<費用> 資料代として学生300円、社会人500円

<講師> 蟹澤聡史・東北大学名誉教授(当協会理事)

※当日は読後の感想・印象を中心に語り合う場となります。

<申込・問い合わせ先> jcfa.miyagi.rojin2026@gmail.com 迄